

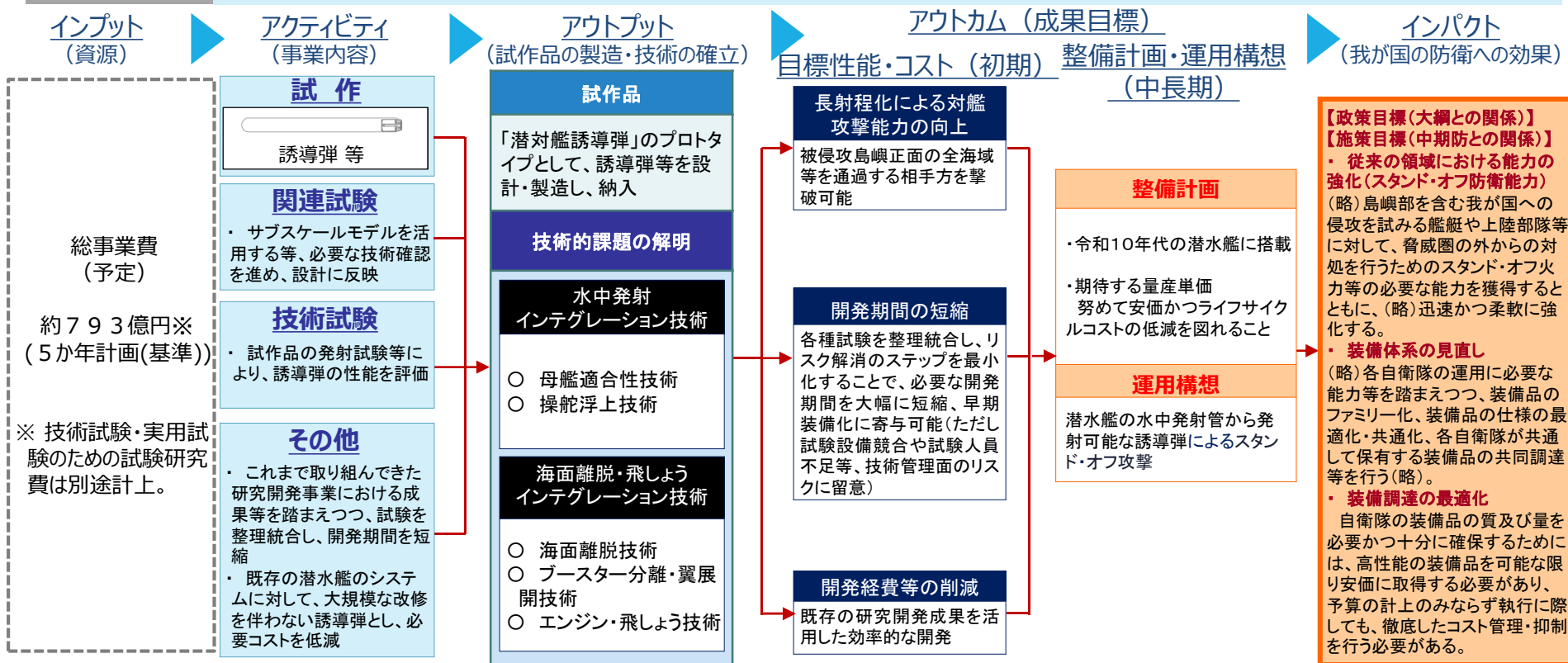
潜水艦発射型誘導弾

【事業の概要】

我が国への侵攻を試みる艦艇や上陸部隊等（以下「艦艇等」という。）に有効に対処するため、自艦の行動範囲を秘匿し、高い隠密性を有して行動できる潜水艦から発射可能なスタンド・オフ・ミサイルとして、新たな対艦誘導弾を開発する。

現状・課題

敵は、着上陸侵攻対処能力を増強し、防空能力を向上した複数艦艇により着上陸侵攻するとともに、わが島嶼部正面の海域において、継続的に海上輸送を実施して侵攻能力を維持・増進する。これに対し、我は共同対艦攻撃を実施して敵部隊の着上陸を阻止し、島嶼占領の既成事実化を阻止するが、現有装備は火力発揮するために必要な射程が不足している。



<開発実施線表>

年度	5	6	7	8	9
実施内容			本事業 (試作)		
				技術試験・実用試験	

総合評価

新たなプラットフォームから発射が可能な誘導弾を開発してスタンド・オフ防衛能力を早期に強化していく必要がある。

また、本事業を短期間で完了するため、これまで取り組んできた研究開発事業における成果の活用を図る等の取組みは、開発期間の短縮、経費の抑制等を追求する観点から、重要である。これらを踏まえると、本事業に着手することは妥当である。